

## I 目指すべき将来像の設定

社会環境の変化やCNFに関する動向、富士市の強み・弱みの分析、導き出された課題を踏まえ、本市がCNFを通して目指すべき将来像を設定します。

### 富士市においてCNF関連産業の集積化を導き出すコンセプト

強みの技術  
×  
多彩な産業  
×  
拠点・体制

#### CNFの拠点のまちへ

- CNFの有する多様な機能と、長年培ってきた市内産業の技術や製品が融合することで、更なる技術革新や画期的な製品の誕生、CNF関連産業の創出、新たな事業の開拓につながります。
- 静岡県、静岡県富士工業技術支援センター、静岡大学等の関係機関と連携しながら、CNF関連産業が集積するための拠点形成と人材を育成する体制を整備していきます。

巻き込み型  
パートナーシップ  
「ノウハウ・知恵・  
人材の融合」

#### 最先端のものづくりのまちへ

- 他地域のCNF推進組織等と連携し、取組ノウハウや知恵、人材等を巻き込むことにより、シナジー効果を生み出し、国内のCNF関連産業の底上げにつなげます。
- 多種多様な企業が本市に集まり、情報の交差、人や企業の交流、技術の融合等がなされ、最先端のものづくりのまちを目指します。

地球環境への寄与  
新たな産業の創出

#### 持続可能な社会を創るまちへ

- 石油資源の使用量削減、二酸化炭素の排出削減・固定に資するバイオマスの有効活用への期待を契機と捉えます。
- 植物資源の有効活用を推進し、地球環境への寄与と新たな産業による経済成長とを両立した将来にわたる持続可能な社会の構築を図ります。

### 富士市が目指すべき将来像

CNFでつながり ひろがる ものづくりのまち ふじ  
～ 持続可能な社会を創るまちへ～

## 2 将来像の実現に向けた方針

将来像を実現するための5つの方針を設定し、CNF関連産業の集積化に向けた取組を進め、ひいては持続可能な社会の構築を図ります。

### 将来像

CNFでつながりひろがるものづくりのまちふじ  
～持続可能な社会を創るまちへ～

### 将来像実現のための「5つの方針」

#### 1 CNFの理解促進 ～CNFを知る～

- 市内企業等の幅広い層に対し、CNFに取り組む意義を伝えていきます。
- 各企業へCNFに関する必要な情報を発信し、CNFへの理解を深め、興味関心や取組意欲の向上を図ります。

#### 2 CNFの活用促進 ～CNFに触れる・作る～

- CNFを活用する上で課題となる技術・設備・資金的支援を積極的に行います。
- 企業のCNF活用を更に促進し、本市発の製品創出につなげます。

#### 3 CNF・地域産業の拠点とネットワーク形成 ～CNFでつながる～

- CNFを含めた地域産業を活性化するための産学官の連携拠点を形成し、人材を育成する機会を設けます。
- 連携拠点を中心に、オープンイノベーションの場や企業マッチングの機会を創出することで、同業種・異業種連携を促進するCNFネットワークを形成します。
- 地域横断的な連携により、積極的な情報収集や人材交流等を図り、本市のみならず全国の取組事例の紹介や情報提供の場づくりを展開し、CNF関連産業の底上げにつなげます。

#### 4 CNFの事業化推進 ～CNFで儲ける～

- CNF製品の事業化に至るまでにハードルとなる資金調達等の問題に、産学官が協力しながら支援します。
- 販路開拓等、ビジネスモデルの構築やビジネス化支援に取り組めます。

#### 5 CNFのまちブランド育成 ～CNFのまちをプロモーション～

- 「知る」、「触れる・作る」、「つながる」、「儲ける」の方針に基づく取組を推進し、取組に関する情報の発信やプロモーション活動を行います。
- 本市が、CNFに取り組む上で最適な場所であることが認知されるよう企業、人材、情報、技術が交差する求心力のある場を目指します。
- CNFの有効活用を推進し、地球環境に配慮した持続可能な社会を構築します。